

## みんなと結ぶ「へいわ」



### ～港区平和都市宣言40周年～



港区平和都市宣言が制定されて今年で40周年を迎えます。40周年を記念して多くの平和事業が行われます。港区の企画も若い世代を中心に実行委員会形式で事業を進めていく計画です。戦争体験者が少なくなる中で多くの方が平和について考える機会になることを願います。

平和関連  
予算

## 2,568万3000円

#### ●区内中学生の広島派遣 8月5日～8月7日

全国の青少年と平和交流を行い被爆の遺構見学。平和祈念式典に参列します

対象 中学生10名、保護者10名

#### ●戦争・戦災体験集(第4集)の発行

戦争体験者の体験談を掲載した冊子の製本・配布

#### ●折り鶴の再生・循環プロジェクトへの参加

広島に奉納される千羽鶴を再生した折り紙で千羽鶴を作成し、広島・長崎に奉納  
平和のつどい～みんなと結ぶ「へいわ」の開催

#### ●40周年記念事業の集大成としての事業を2026年3月に実施する予定です



## 六本木に米軍 『戦争』司令部がやってくる!?

昨年11月の星条旗新聞の報道で浮上したこの問題は、専門家によれば現在横田基地にある米軍司令部がそのまま移転するのではなく、今後新設される米軍と自衛隊が共同して闘うための「統合軍司令部」を六本木(赤坂プレスセンター)に作るものです。

港区と港区議会は1996年以降「米軍ヘリポート撤去」要請行動を防衛省と東京都に対して行っています。今年2月4日の要請で区長は「基地の恒久化につながることへの懸念」を伝え、本会議質問には「区民の皆さんとともに基地の撤去に向けて粘り強く取り組む」と答えました。

「六本木に米軍基地はらない!!」の声を大きく上げていきましょう。



「基地から飛び立つ米軍ヘリ」新国立美術館よりUH60を撮影(3月6日)

### 困ったときはすぐ相談を

弁護士と区議会議員がご相談に応じます

## TEL.03-3578-2945



**福島 宏子**  
保健福祉常任委員  
交通等対策特別委員長  
議員団幹事長  
区議2期



**風見 利男**  
建設常任委員  
防災危機管理等安全対策  
特別委員  
議員団長  
区議10期

ホームページも  
ご覧下さい



# 2025年度予算 みなさんと力を合わせて実現しました

## 補聴器

高齢者の補聴器購入費用助成  
限度額が引き上がります。  
住民税非課税者  
13万7000円⇒14万4900円  
住民税課税者  
6万8500円⇒7万2450円

## エアコン設置費用

高齢者エアコン購入費の助成  
上限額(7万7000円⇒8万  
7000円)が引き上がります。

## 区民健康診査

30歳から39歳を対象に実施し  
ていた区民健康診査(サンマル  
検診)の対象が16歳からに引  
き下がります。

## 学童クラブ等 おやつ代無償

学童クラブのおやつ代が公費  
負担になります。児童館の一  
般利用の児童にも無償でおや  
つを提供します。



### 第1回定例会にて 福島宏子区議が 質問しました

[2月25日(火)]



- ① 在日米軍司令部の赤坂プレスセンターへの設置をやめるよ  
う国に求めること
- ② 防災対策の強化について
  - スフィア基準に基づいた避難所の運営を
  - 「避難所環境改革TKB48」を目指すこと
  - トイレカーを導入し、「災害派遣トイレネットワーク」に加入を
  - キッチンカー協会と災害協定を締結し、温かい食事が提供で  
きるように
  - 段ボールベッドの備蓄を
  - 女性のための備蓄品の充実を
- ③ 羽田新飛行ルート運用を中止すること
- ④ 同性カップルの住民票の続き柄の改善
- ⑤ 5歳児健診の早期実施
- ⑥ 高額療養費の改悪を許さないこと
- ⑦ 相続税への補助制度を確立すること
- ⑧ 市街地再開発には区民の税金を投入しないこと
- ⑨ シティハイツ白金、一ツ木は現地で建て替えを
- ⑩ 神宮外苑、区道の18本のイチョウを安易に伐採させないこと
- ⑪ 私立小・中学校等に通う子どもたちに、区立の給食費相当額  
を支給すること

### 予算特別委員会 [3/4~3/18]

## 区民生活の向上に 全力投球

～質問項目をご紹介します



- 「安全の碑」の設置について
- 公共施設のトイレの男女比を1:2に
- 公契約条例の制定を急げ
- 火葬料への助成制度について
- 区有施設に「尿漏れパット」の設置を
- いきいきプラザで食事提供サービスの実施を
- 「生活保護は誰でも相談・申請できます」を広く周知すること
- DV被害者「一人で悩まないで」リーフレットを広く普及すること
- 認知症バリアフリー実現に向けて
- 民泊のごみ処分について
- アルツハイマー病の検査・治療費の補助を
- 心房細動の早期発見にむけて
- 観光客のごみのポイ捨てをなくすこと
- ひどい解体工事をチェックすること
- 歩車分離式信号の増設を
- 神宮外苑再開発の抜本的見直しを
- すべての区立小中学校で「みんなとゼミナール」等の学習支援を  
広げること
- 私立学校等へも給食費相当額の支援を 等

2025年度 一般会計予算(総額2043億2千万円)に  
賛成しました。

## 共産党議員団が申し入れ

### 1 国の臨時交付金 住民税均等割世帯にも支給を

昨年国の補正予算で、低所得者への給付金の支給が決まりました。12月20日、党区議団は住民税均等割のみの世帯へも支給するよう区長に申し入れました。その結果、港区として均等割のみの世帯3,974世帯へも支給が決まりました。給付金は世帯に3万円、子ども1人当たり2万円がさらに支給されます。

### 2 受験生を痴漢から守ろう

1月6日、清家愛区長に受験生を痴漢から守るための対策を申し入れました。区はホームページに掲載するとともに、警察や交通機関などに要請しました。

## 高額療養費の 見直しは撤回を



高額療養費制度は、患者の自己負担を軽減するため窓口支払額(月単位)に上限を設けています。政府は、今年の8月から高額療養費の負担上限額を引き上げる計画でしたが、多くの患者団体などから反対の声が相次ぎ負担上限額の引き上げは見送られました。政府は今秋までに再検討する考えですが、多くの患者団体などからは拙速な見直しに対し懸念の声が上がっています。党区議団は安心して治療が受けられるよう区に対し、国に中止を求めるよう質問しました。